

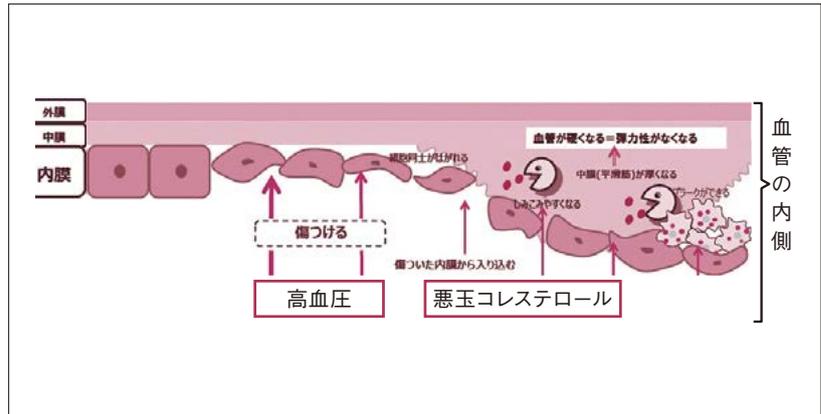
かがやきだより vol.26

今回のテーマ「高血圧と動脈硬化の関連」

動脈硬化とは、血管が硬くなって柔軟性がなくなることです。動脈硬化はなぜ起こるのでしょうか。また、動脈硬化になると、からだの中にどのようなことが起こるのか、一緒に確認しましょう。

～動脈硬化の仕組み～

- ①血圧が高くなると、血液が血管の壁を押す力が強くなり、血管が傷つく。
- ②傷ついた部分にLDL（悪玉コレステロール）が入り込み、プラークができる。
- ③血管が硬くなり、血液の通り道が狭くなる。
- ④血管が詰まりやすくなる。



動脈硬化によって血管が硬くなると、より強い圧力で血液を送り出そうとするため、血圧はさらに上がります。高血圧によって動脈硬化がより進むので、「高血圧→動脈硬化→高血圧」という悪循環になります。

動脈硬化は進行するまで**自覚症状はありません**。気づかないうちに徐々に進行し、ある日突然、脳梗塞や心筋梗塞を引き起こします。

動脈硬化を防ぐためにも、血圧を正常な値に保つことが大切です。次回は、血圧が上がる原因について掲載します。



※救急受け入れの人数を月別に表しています。(休日・時間外を含む)

常陸大宮済生会病院 救急患者受入状況

■ 救急車以外
■ 救急車

